

# 福川 伸陽

ふくかわ のぶあき

## ホルン

神奈川県出身 神奈川県在住

【所属マネジメント】  
コンサートイマジン

住所：〒162-0802 東京都新宿区改代町 35  
TEL：03-3235-7772 FAX：03-3235-3855  
担当：小崎 紘一 E-mail：ozaki@concert.co.jp  
齊藤 芽生 E-mail：meisaito@concert.co.jp



## やってみたいアクティビティとコンサート

この事業で出来る事、挑戦してみたいこと

アウトリーチでは、ホルンの起源（17世紀に狩で使われていたホルンを使用）から、現代のホルンへの変遷を知ってもらおうと共に、音の出し方や、なぜ右手を入れているのか、音の出る場所が後ろを向いているのかなどを解説。言葉が介在しない世界共通言語としての音楽の魅力も併せて伝えていきたいと思っています。

ヨーロッパやアメリカ、日本全国でのリサイタルの経験から、沢山のレパートリーを手に入れました。その中から二時間のコンサートにするのは難しいですが、当地の聴衆が何を求め、聴きたいと思っているのかを担当者様と一緒に考え、素晴らしいプログラミングにしたいと思っています。

また、この素晴らしい機会の輪を拡げ、将来いろいろなおんかつアーティストの皆さんとコラボレーションしていきたい。それぞれの経験が、より良いおんかつへと昇華されていくのではないだろうかという期待にドキドキしています。

## 自己PR

突然ですが、神父とホルン奏者、どちらが天国に行けるとおもいますか？答えはホルン奏者。なぜなら、神父は説教中、信者を眠りに誘いますが、ホルン奏者は演奏中、聴衆が「神よ、失敗しませんように！」祈るからです。それほどホルンは難しい楽器と言われており、そして実は歌やヴァイオリン、ピアノにも負けない表現力のある楽器なんです。そんなホルンの素晴らしさ、可能性を多くの人に知ってもらい、もっと身近な存在に感じて頂くことが出来たら…！と思っています。

## PROFILE

2008年、第77回日本音楽コンクール ホルン部門第1位。ソリストとして、小林研一郎、沼尻竜典、下野竜也、手塚幸紀、梅田俊明、藤岡幸夫、鈴木優人らの指揮者と、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、N響メンバーによる室内オーケストラ、横浜シンフォニエッタ他と共演。国内外の重要な指揮者、演奏家の信頼も篤く、特にライナー・キュッヒル、ハインツ・ホリガーとの共演は記憶に新しい。全国各地においてホール主催のコンサートシリーズにも数多く招かれており、「ラ・フォル・ジュルネ」「東京・春・音楽祭」などの音楽祭にも多数出演。ホルンのレパートリーの拡大をライフワークとして、作曲家への委嘱や世界初演を積極的に行っている。福川伸陽のために書かれた作品は、吉松隆「Spiral Bird Suite」、藤倉大「PoyoPoyo」、田中カレン「魔法にかけられた森」、川島素晴「Rhapsody in Horn」、酒井健治「告別」、鈴木優人「世界ノ雛型」「モーツァル

ティアーナ」など数十曲に及ぶ。2017年10月には「ヴェネツィア国際現代音楽祭」で藤倉大のホルン協奏曲第2番を世界初演し話題となった。「N響精鋭メンバーによるハルモニウムジーク」や「東京六人組」などで室内楽の分野でも積極的な活動を展開。20歳より日本フィルハーモニー交響楽団の首席奏者を務め、2013年、NHK交響楽団に入団、2015年には首席奏者に就任。キングレコードよりソロCD「Rhapsody in Horn」「ラプソディ・イン・ホルン 弐」「Rhapsody in Horn Ⅲ」をリリース。